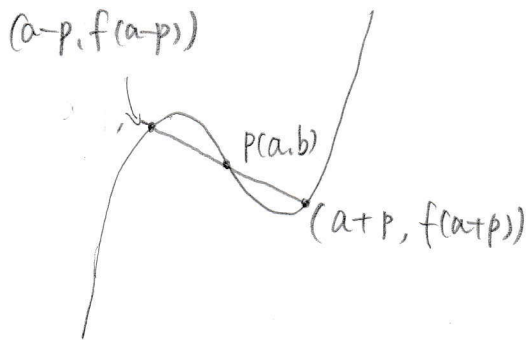


# 3C 微分 29

第2次導関数をもつ関数  $y = f(x)$  のグラフ  $C$  が  $C$  上の1点  $P(a, b)$  に関して対称ならば,  $f''(a) = 0$  であることを証明せよ。 [お茶の水大]



ここで左図において

$$b = f(a) \text{ であり}$$

グラフが  $P$  に関して対称なら

$$\frac{f(a-p) + f(a+p)}{2} = f(a) \text{ となすはず}$$

( $p$  は任意の実数)

先の式より

$$f(a-p) + f(a+p) = 2f(a)$$

これを  $P$  で微分すると

$$-f'(a-p) + f'(a+p) = 0$$

もう1度  $P$  で微分すると

$$f''(a-p) + f''(a+p) = 0$$

これは  $p=0$  で成り立つので  $p=0$  とすると

$$f''(a) + f''(a) = 0$$

$$2f''(a) = 0 \quad \text{より} \quad f''(a) = 0$$